

教養部会講師 木村 美奈子

1. 研究活動

【著書】			
発達支援と相談援助	2013. 5. 15	三学出版	<p>「第3章 相談援助の理論と実際 1 相談援助に関わる理論—心理学・カウンセリングから—」 pp.58-68.</p> <p>本節では、相談援助に携わる場合に必要となるカウンセリングの基礎的な知識をまとめた。特にカウンセリングにおける代表的な理論を紹介し、解説した。</p> <p>「第3章 相談援助の理論と実際 6 大学生の学生相談」 pp.93-100.</p> <p>本節では、大学生に対する学生相談において必要な知識として、学生相談の特徴や、現代学生の心理的特性、教職員や医療機関との連携について解説した。</p>
【学術論文】			
加藤義信先生の研究に学ぶ （「加藤義信先生—その人間性と研究」）	2014. 2	愛知県立大学教育福祉学部論集, 第62号, 11-23.	<p>共著者：瀬野由衣・木村美奈子・別府悦子 担当「加藤義信先生—その人間性と研究—」</p> <p>本論は、加藤義信先生の退官記念に編集された。この節では、加藤先生に指導を受けた学生時代から今日に至るまでの加藤先生との交流の中から、自身が感じとった加藤先生の人間性と人間観、そこから派生した加藤先生との共同研究について論考した。</p>
教師のことばかけによる学習意欲の向上あるいは喪失1—中学時代を振り返って—	2014. 3	名古屋芸術大学紀要, 第35号, 115-139.	<p>本研究は、教員免許取得を目指す学生を対象にして、中学時代を振り返って答えさせた質問紙をもとに、教師のどのようなことばかけが生徒の学習意欲を高めたり、喪失させたりするかを調べた。また、学生らにとって、よい教師とはどのような教師であるか、悪い教師とはどのような教師であるかを記述させ、現代の若者の理想とする教師像を分析した。その結果、生徒と教師の人間関係の密度が学習意欲と関係しているという説を指示する結果となった。</p>

【学会発表】			
<p>Do young children have difficulty dissociating the weight of a photograph from that of the object depicted in it? — Children's understanding of the representational nature of photographs — 〈国際学会ポスター発表〉</p>	<p>2013. 9</p>	<p>16th European Conference on Developmental Psychology (Lausanne, Switzerland)</p>	<p>共著：木村美奈子，加藤義信 本人は実験の計画，実施，分析，論文の執筆担当。 これまでの研究において，4歳児が写真に対して指示対象の重さの属性を付与する property realism の反応を行う可能性を示唆した（木村・加藤・瀬野，2010b）。本研究では，引き続きこの「重さ」の property realism の存在とその反応に影響を与える要因を調べる。具体的には，同じ大きさのフレームの2つの写真を天秤量りに載せたとき，子どもの反応が，指示対象の実際の大きさの違いと，写真画紙上の被写体の大きさの違いの2つの変数によってどのように影響を受けるかを検討した。</p>

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 心理学	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>本講義は心理学の概論的な内容であり、様々な心理学分野から代表的な理論や研究、実験などを紹介している。授業では、学生の集中力を高めるために、いくつかの区切りを入れコーナーをつくり、学生自身が見通しを立てられるようにした。学生は作業をしたり、心理テストを行ったり、実際に実験に参加することで、心理学を身近に感じられるようにした。毎回、授業の最後には、学生に授業全体を振り返ることを促し、感想や質問を書かせ、次の授業の最初にコメントカード・コーナーとして、それらに答える時間を設けた。</p>	<p>全ての授業でパワーポイントを使用し、視覚的に飽きさせないような工夫をした。また、短いビデオ教材を豊富に使い、理解を深める助けとした。印刷資料もできるかぎり用意し、復習に使用できるようにした。</p>
授業科目 学習心理学	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>本講義は教職科目であるので、発達心理学の基礎から学習心理学まで、教師として学校現場で働くために必要な知識を身につけられることを目的にしている。そこで、実践的な力が身につくよう、具体的な場面で考えさせるような授業展開とした。また、教員採用試験も視野に入れ、試験に出やすい項目については、丁寧な解説を心がけた。</p>	<p>授業では毎回、パワーポイントを使用し、学生にはパワーポイントの重要項目を記入するプリントを作り、配布した。それによって、重要項目がわかりやすくなった。配布資料も毎回豊富に用意し、理解の促進を図った。</p>

授業科目 教育相談	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>本講義も教職科目なので、実際に現場で役立つ知識を身につけさせることを目的として授業を行った。特に、学校で起きている不登校やいじめの問題では、学生らをグループ分けし、討論させ、教師としての対応を具体的に考えさせた。また、中高校生によくある悩みを提示し、アドバイスを考えさせる課題を課した。さらに、カウンセリングの練習では、学生をカウンセラーとクライアントに分け、カウンセリングを実施させ、技術的な側面を身につけることを促した。</p>	<p>授業では毎回パワーポイントを使用し、学生には重要項目を記入させ、ポイントを明確にするように工夫した。ビデオ教材も要所所で使用し、学生の理解を促した。</p>

### 3. 学会等および社会における主な活動

日本発達心理学会	2002. 4より現在に至る	研究発表、論文の投稿
日本心理学会	2004. 4より現在に至る	研究発表
日本教育心理学会	2008. 12より現在に至る	研究発表
International Society for the Study of Behavioural Development	2012. 1より現在に至る	研究発表